



題字 井口 文章
再刊 第356号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2021

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：白熱した1学年運動会の様子を一挙ご紹介！
2学年校外学習が延期に今後の対応は？
錦城の卒業生にインタビュー！

錦城で流す最初の汗

59回生運動会開催

4月16日(金)、宿泊研修が延期された代わりに、グラウンド、第1・第2体育館、テニスコートにて1学年運動会が開催された。今号はその模様をお届けする。

クラスの垣根を越えて協力

最初の競技は大玉送り。A、F組が白組、G、L組が赤組に分かれて行った。他クラスとの協力が勝利のカギとなった。1回戦目は大玉を頭上



台風目のワンシーン。遠心力をコントロールできるかがコツだ

ち上げて行った。序盤から白組が大きくリードしていたが、玉が外側に大きくはずれ、追いつけてきた赤組が白組に並んだ。しかし赤組も玉を落とすという結果は白組の勝利に終わった。

両者の決着をつけるべく急遽行われた3回戦。ルールは1回戦のものに戻し、再び持ち上げる形式で行った。白組が一度玉を落とすものの、すぐに立て直してゴールし、チームワークの良さを見せつけた。

3回にわたる熱戦の末、白組が総合勝利を取った。

波乱の台風目

台風目の目は4人1組で棒を持って折り返しのコーンまで走り、1周してチーム全員の足元を通した後、次の組に渡す競技だ。レースは4クラスずつ3グループに分かれ、タイムを競う形式で行われた。C、D、G、H組のレースでは序盤にC組とD組が1位争いを繰り広げD組がリードする。続くG組、H組はG組が先行した。しかし中盤でC組

58回生初の一大イベントへ向けて

実施目指して柔軟な対応を



「実施することを優先的に考えていきます」

4月12日(月)から5月11日(火)まで東京都で適用されているまん延防止等重点措置の影響で、4月23日(金)に予定されていた2年生の校外学習は延期となった。校外学習主任の柴田慶一先生は、行き先について「例年は上野などの公共機関を使うことにはリスクがあることを踏まえて、徒歩での策が比較的に容易な横浜が良いと判断したと

現在6月末の実施を予定しており、行き先は横浜にこだわらず、実施することを優先して考えていく。予定通り実施することが困難な場合は代替案としてクラスごとに行先を決め、人数を分散させることも考えているという。柴田先生は「これまで58回生はあまり行事を実施できていなかったため、どんな形で膨らませたい」と期待を

念願の行事へ期待膨らむ

コロナ禍での実施延期について、板東利洋ホセさん(2M)は「感染状況が厳しい中で校外学習に行くとしたら少し抵抗がありますが、クラスの仲を深めるために行きたい」と話している。また、青木董さん(2G)は「団結力や協調性を向上させることができたと思います」と期待を膨らませた。

ランナーが転倒し、隙を突いたG組が3位に躍り出た。そのままレースは終盤にもつれ込み、最終的にD組が勝利。2位はG組、3位はC組、4位はH組となる形で幕を下ろした。



一条乱れぬ鮮やかなジャンプ

声を合わせて大縄跳び

大縄跳びは各クラス男女に分かれ、グループで1分間の練習の後、本番での男女それぞれ2分間の合計回数を競い合った。第1位に輝いたのはL組。圧倒的なチームワークで驚異の90回という記録を叩き出した。第2位はK組で81回、第3位はJ組の75回。各クラスが元気を声を出して挑み、会場は活気に満ち溢れていた。

意地と意地のぶつかり合い

最後の行われたのはクラス対抗リレー。クラス全員がバトンをつなぎゴールまでのタイムを競う競技だ。総合優勝の結果もかかって上も生き物は魚類、哺乳類、爬虫類、昆虫の4グループに分かれ、それぞれのグループを担当班ごとに世話をしている。しかし、現在1年生の入学希望者は5人と例年に比べてかなり少なく、仕事が終わらないという。「文化祭では1年生の体験、入部を待っています」と話した。

人手不足で 生命の危機

生物部は水、日曜日を除いた週5日、バスケットコートのあるプレハブ小屋で活動している。部長の増田結月さん(2B)は「2年生15人、3年生13人の計28人が所属していますが、学年の壁を越えて、和気あいあいと活動しています」と部員の雰囲気を語る。飼育している50種以

57回生を魅了した愛の悲劇 演目は「オペラ座の怪人」

4月23日(金)に四季劇場【秋】で「オペラ座の怪人」が上演され、57回生が鑑賞をした。



入場口に並ぶ57回生。公演への期待を高めながら歩む

観劇の担当だった中村聡子先生は「新型コロナウイルスの感染者が増加していましたが、緊急事態宣言が発令される前だったため、決行するか前日まで話し合いを重ねました」と語る。劇団四季側は万全の準備をしていたため、劇場内での感染よりも移動で公共交通機関を使うことや食事をするに對しての心配が強かったという。最終的には「3年間で外に出る最後の行事なので、少しでも経験してほしいという思いで実行しました」と話した。観劇を終え「3年生のマナーや鑑賞態度が良かったと褒められました」と中村先生。スタンディングオペラをする人が多かったことも嬉しかったという。始めはオペラがどんなものなのか分からず、面白いのか疑問に思っていたという石野貴一さん(3C)。実際に鑑賞すると「すごく面白かったです」と話した。高倉日菜乃さん(3H)と山田美那海さん(3H)は「空間の使い方が細部までこだわっていて凄かったです」と語る。特にシャンデリアが落ちてくる場面が印象に残ったという。また「音楽や遠くにも感情がわかる表現力に圧倒されました」と振り返った。

身を麻袋に包み、ジャンプで移動して麻袋をリリースしそのタイムを競うというものだ。一戦目の競技チームはA、B、G、H組。下半身の自由が利かないため、開始直後から転ぶ、靴が脱げるなどのアクシデントが多発した。序盤はA、B組が一位の座を競う。中盤でA組がB組を追い越してリードしたが、最後にはH組が追い上げ一位の座を獲得した。

驚くバトンと熱い絆

最後にバトンをつなぎゴールまでのタイムを競う競技だ。総合優勝の結果もかかって上も生き物は魚類、哺乳類、爬虫類、昆虫の4グループに分かれ、それぞれのグループを担当班ごとに世話をしている。しかし、現在1年生の入学希望者は5人と例年に比べてかなり少なく、仕事が終わらないという。「文化祭では1年生の体験、入部を待っています」と話した。

優勝の感想は

総合優勝を飾ったL組の小野のどかさんと、儘田佑希さんにインタビューをした。2人は、一風変わった陣が優

勝の秘訣だと語る。陣では「電気がありがとう。床にありがとう。大地にありがとう。優勝あり得ない？アリア(エール)でしょう！」というかけ声と共にガッツポーズをし、台風の目で1位、麻袋リレー

優勝したL組の生徒が賞状を受け取る様子

で2位という好成績を収めた。小野さんは「優勝することが出来て、最高です！」と喜んだ。



ぜひ体験に行ってみよう！

女子バレーボール部は現在2年生5人、3年生1人の計6人が所属しており、月火土日曜は第2体育館、水曜はバレーボール部へ。(甘・千)

部活 掲示板

#君の入部届をもらいたい

生物部は水、日曜日を除いた週5日、バスケットコートのあるプレハブ小屋で活動している。部長の増田結月さん(2B)は「2年生15人、3年生13人の計28人が所属していますが、学年の壁を越えて、和気あいあいと活動しています」と部員の雰囲気を語る。飼育している50種以

一緒に新聞を作ませんか？ 編集委員 募集中！

興味のある人は、新校舎7階の生徒会室までぜひ来て下さい！
新聞委員会編集部

むらさき草

「チームワークが勝敗を決める」という意見を聞くが本当にそれが全てだろうか▼3月28日(日)にTBSのサッカー番組「スーパーサッカー」が最終回を迎えた。最後の企画として「ワールドカップ(以下、W杯)での最高成績がベスト16のサッカー日本代表がW杯でベスト8以上を目指すために何が必要か」というアンケートが代表出場経験者、五輪出場経験者、U-20・U-17 W杯出場経験者の現役選手、166人を対象に行われた。意見をまとめた結果、最も多かった意見は「個人のスキル向上」だった。日本のサッカーはお互いに協力し合い、支え合うところ、いわゆる「チームワーク」が長所といわれているが、個の力が発揮できなければW杯でベスト8以上へ勝ち進んでいくことは難しいというのだ▼実は「ジーコのリーダー論(ま書房・1993年初版)」にも似たようなことが書かれている。著者のジーコは元ブラジル代表の伝説的サッカー選手だ。ジーコはその本の中で「ドリブルのうまい選手やパスが巧みな選手など、個性のある選手がそろっているほうが、チームとしての強さを発揮できるため、チームワークを基本にした個性の発揮は、最大級の賛辞を与える」と述べている。つまり、チームワークは基本だが、ドリブルやパスなどの様々なスキルを「選手個々の、すなわち『個性』」として発揮させることが必要だといっている。個性を発揮するには、選手のスキルに合わせてポジションを選ぶなど、選手個々が輝けるチームづくりが必要であり、ただスキルが高ければ良いというわけでもないのだ▼春の球技大会まであと一ヶ月。強いチームはチームワークが機能していると思うが、さらに選手の個性を最大限に引き出すチームが優勝するのではないかとと思う。(鳥)

SNSトラブルはすぐそばに 情報集中講義開催

4月23日(金)に第1体育館で1年生を対象とした情報集中講義が実施され、情報科 芦澤貴央先生からSNSにまついての講義を受けた。最近ではLINEやインスタグラム、Twitterなど、チャット形式のコミュニケーションツールを用いた文字だけのやり取りが増えている。その中でもSNSは誰かに悪影響を及ぼす危険性が高い。近年は高校生のSNSトラブルが増え、いじめも深刻化している。そこでSNSを使う際は「人を傷つけない」「困ったら大人に相談」「使用ルールを決める」の3つが大事だと話した。「SNSは誰かに悪影響を及ぼす危険性が高い」と話した。また、高校は人々に起ると思っているが、自分自身もSNSを使うことが大事です」と話した。(群・中)

SNSトラブルはすぐそばに 情報集中講義開催

4月23日(金)に第1体育館で1年生を対象とした情報集中講義が実施され、情報科 芦澤貴央先生からSNSにまついての講義を受けた。最近ではLINEやインスタグラム、Twitterなど、チャット形式のコミュニケーションツールを用いた文字だけのやり取りが増えている。その中でもSNSは誰かに悪影響を及ぼす危険性が高い。近年は高校生のSNSトラブルが増え、いじめも深刻化している。そこでSNSを使う際は「人を傷つけない」「困ったら大人に相談」「使用ルールを決める」の3つが大事だと話した。「SNSは誰かに悪影響を及ぼす危険性が高い」と話した。また、高校は人々に起ると思っているが、自分自身もSNSを使うことが大事です」と話した。(群・中)

国語

萩原 充洋先生
2年 現代文
3年 現代文



主体的な生徒を育てたいです

高校時代は写真部に所属し、古文中では源氏物語が専門で、「心理描写が緻密で、古典を面白く読める」と語った。先生は「おとなしすぎます。授業が始まると先生1人の授業のように話してしまいます」と萩原先生。錦城生には、自分から知識を求めて先生に質問に来る意識を持ってほしいと語った。将来の理想像については「先生がいないでも自分から勉強するようないまの生徒を育てたいです」と胸の内を語った。



錦城生は落ち着いたイメージです

「何事も全力投球」が座右の銘だという上杉先生。「数学が苦手な生徒は多いけれど、その面白さをきっかけとして苦手を克服してほしい」と話そうだ。最近ハマっている食べ物は「蒙古タンメン 中本」の北極ラーメン辛さ5倍。好きなスポーツはサッカー。中学生の先生に「教師に向いている」と言われたこと、教師を志す後押しになったそう。趣味はソフトテニスと野球観戦。ソフトテニスと野球観戦。ソフトテニスと野球観戦。ソフトテニスと野球観戦。

嶋田 龍司先生
1年 古典
2年 現代文

酒井 辰哉先生
1年 現代文
2年 古文

内田 博史先生
1年 現代文
2年 現代文



「頑張る」を習慣にしましょう



国語の先生ですが、特技は英会話です

高校時代、とにかく元気な生徒だったという酒井先生。「陸上部に所属していた、週7日練習に打ち込んでいました」と語る。そのため、なかなか勉強できる余裕がなかった。物事を頑張るコツは、自分が頑張っていると思わないようにすることだという。「歯磨きや日頃の食事のように習慣化する」と語る。自然と出来るようになる、自然と出来るようになる、自然と出来るようになる。

数学

福本 拓也先生
2年 数学B
3年 数学A



錦城生は真面目に授業を受けてくれます

「何事も全力投球」が座右の銘だという上杉先生。「数学が苦手な生徒は多いけれど、その面白さをきっかけとして苦手を克服してほしい」と話そうだ。最近ハマっている食べ物は「蒙古タンメン 中本」の北極ラーメン辛さ5倍。好きなスポーツはサッカー。中学生の先生に「教師に向いている」と言われたこと、教師を志す後押しになったそう。趣味はソフトテニスと野球観戦。ソフトテニスと野球観戦。ソフトテニスと野球観戦。

英語

門前 和紀先生
3年 R・E



自分の可能性を信じてください



メジャーリーグを見るのも好きです

高校時代は合唱部、大学時代は軽音楽部に所属していた田中先生。趣味はスポーツ観戦と音楽を聴くこと。スポーツ観戦では、特に野球が好きで、5年前から横浜DeNAベイスターズのファンだと言った。この四字熟語は「自らの実力以上に大きなことを成す」という意味を持つ。門前先生は高校時代、自分の持つ可能性を信じて、自分自身でチャレンジすることを勧めた。最後に「英語の偏差値が70ほどにまで上がりました」と下達郎さんの曲を聴いてみる。最後に「これからよろしくお話しします」とメッセージを送った。

新任 新天地でより良い学びを ~新任の先生方をご紹介します~

今年度新しく錦城に赴任されたのは、先生12名と事務の方1名。この仕事と出会ったきっかけや趣味、意気込みなどを取材した。普段の授業では見られない先生方の一面を紹介する。(編集部共同取材)

理科

重成 希先生
2年 生物
科学と人間生活

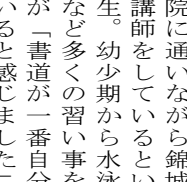


教員になるにあたって髪を切りました

昨年度の2学期に教育実習生として錦城へ来ていた重成先生。錦城生時代は球技大会に誰よりも熱く打ち込んでいたという。教師を志した理由については「教育実習を通して生徒の皆さんと身近に関わって、何かに向かって頑張る生徒を近くで応援したい」と語った。また、教師になるにあたって、昨年は長かった髪もバツリ切り、気持ちを入れ替えたそう。勉強は楽しくないという気が出ないと思うので、元気に楽しく授業をしたいです」と意気込んだ。

書道

後藤 花奈江先生
1年 書道



好きな分野は「漢字仮名交じり」です

現在、東京学芸大学の大学院に通いながら錦城で書道の講師をしているという後藤先生。幼少期から水泳やピアノなど多くの習い事をしてきたが「書道が一番自分に合っていると感じました」と語る。高校では書道に励みながら、サッカー部のマネージャーもしていたという。また、全国高等学校総合文化祭に大分県代表として出場したことをきっかけに、書道についてより深く知ろうと思ったそう。後藤先生は「力になれることがあれば声をかけてください」と錦城生にメッセージを送った。

体育

杉山 敏基先生
1年 保健
2年 体育



自分も勉強しながら授業をしたいです

特にバレーボールは母と姉の影響で中学時代から始め、高校と大学では全国大会にも出場したという。杉山先生は「練習がとて多く、辛いと思うこともありますが、バレーボールが好きなので続けられました」と語った。また、教師になる前は一般企業で働いており、そこで「思いやり」の大切さを学んだと語る。その経験から「授業では生徒とのコミュニケーションを大切にしていきたい」と話した。

音楽

新野 将之先生
1年 音楽



一生の音楽好きを育てたいです

パーカッション演奏が専門で、生徒に音楽を身近に感じてもらいたいという新野先生。身体を動かすことが好きで、ポルカダンスが趣味だ。また、「転生したらスライムだった件」や「Re:ゼロから始める異世界生活」など、異世界転生もののアニメが好きでよく見ているそう。新野先生は授業ではリラックスして音楽の楽しさを感じて欲しいと話す。「音楽の感じ方に正解はありません。授業を通して仲間とそれぞれの個性を伝え合い、新しい発見をしていきたいと思います」と思いを語った。

事務

野原 大資さん



最高の高校時代でした

趣味でサボテンをはじめとした多肉植物を育てているという野原さん。錦城の事務の仕事に就いたきっかけは、教育のメインとなる学校の運営に携わりたいと思ったことだそう。野原さんは「高校時代、興味のある物事に全力で取り組みました」と話し、錦城生に対しては「元気があり、挨拶が出来ています」と好印象だった。先生に質問するときは必ず自分の解答を持っておくようにと錦城生にアドバイスを送るとともに「失敗できるのは今のうちで」と励ました。

卒業生 自分の基軸を決めて、楽しんで

錦城の卒業生に取材するこの企画。今回は錦城高校新聞の再版から20年経ったことを受け、編集委員だった錦城54回生の田矢美桜奈さんに、高校時代や現在の大学での活動について取材をした。田矢さんは錦城を卒業後、公募推薦で上智大学に入学。現在3年生で、社会学を専攻している。



毎年12月に演奏会で尺八を披露する(左から2番目)

高校時代はとにかく「がむしゃら」だったという田矢さん。「情熱を持てるものには、ひたむきに突き進んでいました」と語る。部活は生物部と新聞委員会編集部に所属。特に編集部では委員長を務め、全国大会での優秀賞獲得に関わった。学業面では、社会科目は得意だった一方、数学は人の2倍やらなければならなかったという。田矢さんは「数学や哲学の論理的な思考は全ての学問の基礎になっていると思います。苦手でも嫌いにならないことが大切です」と話した。受験期になると、1年次から志望していた上智大学への受験にあたって、一般受験の勉強との両立が難しくなることを懸念し、公募推薦に挑戦するか悩んだという。しかし7月の面談の際、担任の先生に背中を押されたことを機に勉強を始めたそう。田矢さんは「公募推薦を受けるには自分に明確な意思がないと大変だと思います」と語った。入試までは社会学関連の本を読んだり、同級生と面接の練習を重ねたりしたそう。大学入学後は、4年間を通して何か一つの事に腰を据えて取り組みたいと考え、音楽の経験はなかったが尺八を始めたそう。尺八は音が出るまでに1年、吹けるようになるまでに3年もの歳月がかかるという和楽器。田矢さんは「伝統文化に触れながら好きな環境で活動ができ、毎日がとても充実しています」と語る。また、他にも農業サークルや文化プログラムユースプレセンターというオリエンティックに関わる活動も主催者として行っているそう。大学生活の折り返しに立ち、田矢さんは「大学では自分の興味がある多くのものに関わることが出来ます。パラソルを考えながら自分の基軸を決めて、ぜひ様々なことに挑戦してみてください」とメッセージを送った。(卵)

宣伝してほしい部活・同好会・表彰募集中!

新入部員が足りない、もっと活動について知ってほしい、部活以外での活躍を取材してほしいなど、新聞に載せたいことがあれば、近くの編集委員、または新校舎7F生徒会室まで! 新聞委員会編集部

Table with columns for dates and events: 4月14日(水) 体育学芸委員会, 4月19日(月) 新聞委員会, 4月20日(火) 保健委員会, 4月21日(水) 保健委員会, 4月26日(月) 体育学芸委員会, 4月27日(火) 図書委員会